

北海道教育委員会教育長 様

北海道佐呂間高等学校長 渡 邊 周 一

次のとおり令和2年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) キーワード「プレミアム・スモール 佐呂間高校」 ア 小規模校であることの利点を最大限生かす教育活動を実践する。 イ 生徒理解に基づいた指導で、生徒一人一人の社会で生きる力の伸長を図る。 ウ 教職員、保護者・地域が一体となり、生徒が入学して良かったと思える学校づくりを行う。	
(2) 学校教育目標の具現化と教育活動の充実 ア 校務に対する組織的な協働体制と学校経営に参画する意識の高揚を図る。 イ 個々の教育活動の関連性を重視し、常に生徒への計画的な働きかけを実践する。 ウ マネジメントサイクルを踏まえ、学校評価を活かした学校経営の充実を図る。	
(3) やりがいを感じられる職場づくりと信頼される教職員集団の確立 ア 生徒の学校生活の充実のため、同僚生を深め、教師が互いに日常の授業改善や研修に努め、教育職と行政職の深い連携の中で組織としての資質能力の向上を図る。 イ 学校教育の信頼のため、学校教育公務員としてのメタ認知力の向上を図る。 ウ 教育の質の維持・向上、教職員の健康保持のため、働き方改革の視点から職場環境の整備を図る。	
(4) 安全安心な教育環境づくりの推進 ア 基本的な生活習慣の確立とともに、相互の人間性を尊重し、いじめや暴力のない落ち着いた教育環境を保持する。 イ 施設の美化保全、整備等に取り組み、事故や災害に対応した管理体制の点検、充実を図る。	
(5) 開かれた学校づくりの推進 ア 家庭や地域、小中学校との連携を深め、一体となった教育活動を行う。 イ 本校の教育活動を発信し、理解促進を一層図るとともに、学校の教育力を地域に還元する。 ウ 保護者や地域からの意見等を踏まえて学校改善に役立てる。	

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	・「教育目標が地域の実態を踏まえたものか」「経営戦略の具現化の意識のもと教育活動が行われているか」についての取組は概ね十分と評価した。	・生徒一人一人に前向きな気持ちを引き出していくための教職員の尽力に敬意を表する。
改善方法	・育成を目指す資質、能力を地域社会と連携、協働するとともに、目指す学校像の共有化やそのための教職員個々の役割についての意識の醸成を図る必要がある。また、業務の見直しを図り、効率的な業務遂行を推進する必要がある。	
学習指導	・「生徒の実情を踏まえつつ、学力向上と進路実現、自己実現を目指した教育課程の編成」について、取組の適切さ及び達成状況を十分と評価した。	・先生方は、生徒に適切な目標をもたせて努力されていて感謝している。生徒自身の成長過程が確認できる自己評価には関心がある。
改善方法	・個に応じた学習指導の展開と、きめ細かな指導を継続し、主体的・対話的で深い学びの推進を図る必要がある。また、遠隔システムの活用など、各教科で創意工夫ある授業を促進し、生徒の学習意欲向上を図っていく必要がある。	
生徒指導	・「部局活動の活性化に努め、生徒が充実した学校生活を送っているか」について取組は概ね十分との評価であるが、改善の余地がある。	・中学校での部活動を高校でも継続させることが基本となるが、一方、高校での新しい部活動経験の魅力を中学校に伝える必要がある。
改善方法	・少人数でも活躍の場を与えられるような教育活動を推進しその情報を発信していく必要がある。	
進路指導	・「小中高の連携と、中長期的な生徒の成長を促す取組」について取組の適切さにおいて、やや不十分であると評価した。	・「中高連携」を深め、佐呂間高校の魅力を中学校に発信する必要がある。また、外部の人材を活用した支援を地域一体となって進める必要がある。
改善方法	・多様化した進路志望に応じた個別指導を重視するとともに、主体的に自己実現に取り組む姿勢を涵養する必要がある。	
公表方法	・学校ホームページ	